

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 嶺北消防組合ポンプ車錬成会

自治体名

嶺北消防組合

消防団名

嶺北消防組合坂井消防団
嶺北消防組合あわら消防団

1 事業の目的・必要性

実際の火災現場では、操法とは違い各現場に応じた活動が必要となるため、従来実施していた操法訓練とは違った実火災を想定した訓練を実施する必要がある。

2 事業内容

嶺北消防組合あわら、坂井各消防団を対象に各分団操作員5名で、あらかじめ設定した操作コースを各分団に配置されたポンプ車、資機材を使用して車両下車から放水までの一連の動作を実施し、消防職員が行動、動作、要領、放水までの時間等評価を行い、訓練後、実施した分団に改良点等の講評を行う。

3 事業成果

事前設定したコース及び火点に対して、あらかじめホースの延長方法等を定め訓練を実施させるのではなく、各分団5名の操作員が考えたホース延長方法等で実施させることにより、実火災においても自らが最善の方法を考え活動できるようになり、消防団員の消火技術の向上が図れた。

訓練実施状況



消防職員による講評



4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	2	2	
参加者	人数	190	245	
訓練回数	回数	16	16	

5 その他参考情報